



紹介者

樋口 泰行

パナソニック コネクト
取締役執行役員 プレジデント・CEO

井上 ゆかり

日本ケロッグ
代表職務執行者社長



40年前の恩師の教え

金融ビッグバンを提唱し、日本の金融自由化をリードなさった蠟山昌一先生は私の大学時代の恩師です。「君は外資系の方が向いていると思う」。このアドバイスのお陰で今の私があります。

卒業目前のことでした。ゼミ生に向かって「君たち、これから社会に出るにあたり、三つのことを覚えておくといいよ」とトレードマークのパイプを片手に満面の笑みで語り掛けてくださいました。

一つ目は、「毎日どんなに忙しくても日経新聞を読み続けること」。ゼミでは毎回生徒が日経の記事を基に課題を提示しディスカッションを行っていました。卒業後も、日々刻々と変化する世界の実態を知り、視野を広く取り自分なりの経済・社会の見方を持てるように研鑽^{けん}してほしいとの私たちへの期待でした。

二つ目は、「世の中は需要と供給で成り立っていることを忘れないこと」。基本的なことですが奥深く、私はそれ以来常に頭の中に需要・供給曲線のグラフを浮かべています。現在のマーケットはどう定義されているのか。競合状況は。その中でより高い価格で、より多くの人に求められるためにはどうすればよいのか。新しいマーケットを創ることはできないのか。同じマーケットでも差別化ができないか。意味のある持続可能な付加価値を創造することはできないのか。ブランドの成長戦略を練るときも、自分自身の社会での役割を考えると、有効なフレームワークです。

三つ目は、「ごちそうになったら、次の日必ず感謝の気持ちをお伝えすること」。さまざまな人脈をお持ちで幅広く人生を楽しんでいらっしゃった先生ならではのアドバイスでした。

先生のような強烈なポジティブインパクトは残せませんが、40年前に頂いた教えを糧に、少しでも次世代のお役に立てる人間でありたいと思う今日この頃です。

▶▶ 次回リレートーク

今井 斗志光

豊田通商
社長・CEO